

**研究課題名：PARP 阻害薬投与既往を有する
プラチナ感受性再発卵巣癌症例の治療に関する後方視的検討**

1. 研究の対象

2018 年～2023 年の間に当院で治療した、プラチナ感受性再発卵巣癌症例のうち PARP 阻害薬の投与既往がある症例

2. 研究目的・方法

プラチナ感受性再発卵巣癌において薬物療法を行う場合、プラチナ製剤を含む化学療法で奏効したあとに PARP 阻害薬を用いた維持療法を行うことが推奨されています（卵巣がん・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン 2020 年度版）。しかし、既に PARP 阻害薬の使用既往があるプラチナ感受性再発卵巣癌の場合、再度 PARP 阻害薬を用いた維持療法を行うことの有効性についての報告は少なく、エビデンスがないのが現状です。

今回の研究においては、PARP 阻害薬投与既往を有するプラチナ感受性再発卵巣癌症例の治療に関する後方視的検討を行い、今後の治療方針決定に寄与することを目的とします。

方法：カルテを用いて以下の情報を調査いたします。当院の研究者のみが利用し、発表の際は匿名化されます。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報（年齢、組織型、進行期等）、CT・MRI などの画像所見、細胞診などの病理学的検査所見、治療内容、診療経過等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科
当院研究責任者：菊池 朗
連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3
TEL：025-266-5111（大代表）